

千代田稲門会会報

2024年 6月

発行 早稲田大学校友会 千代田稲門会
 発行人 遊佐 謙太郎
 編集人 新藤 麻実
 印刷 ヤマノ印刷株式会社
 デザイン linen株式会社

ホームページ: www.tomon-chiyoda.com/
 Facebook: www.facebook.com/chiyodatomon
 (題字: 奥島孝康早稲田大学第14代総長)



変わりゆく秋葉原

副会長 小林 勝義

海外からの観光客も多く訪れる、もはや電気ではなくサブカルチャーの町、秋葉原。私は幼少の頃からこの町を見てきた。

地元の小学校、中学校に通い、秋葉原で仕事し、この町と共に暮らしてきました。父の徳誉さんは、電化製品の卸業を営む一方で、地域社会や中小企業の活性化に貢献し、数多くの叙勲や表彰を受けてきた。「黄金律をもって交えよ」と、人間関係の大切さを説き、小さい頃から人と人との繋がりについて教えられた。大学2年から店頭に立ち、商いを教えられました。1974年(昭和49)年に不動産会社を設立し、代表取締役役に就任した。当初は開発事業を手掛けましたが、バブル後は賃貸オフィス・店舗等の仲介中心に事業を展開している。先代同様、社会貢献にも力を入れ、ロータリークラブを始め、大学の校友会、地元の警察や消防の懇話会など、諸団体の理事や幹事などの役員を務め、活動に奔走している。

こうした忙しい中でも、時間が出来ると夫婦で旅に出掛ける。飛行機や新幹線で現地まで行き、そこを拠点にレンタカーを借りて足を延ばしたり、山歩きなど散策を楽しむ事が多かった。「印象に残っている場所はたくさんありますが、どれも素晴らしい」夜の宮島を散歩中に偶然出くわした狸の親子の愛らしかったことや、白神山地でブナの木に聴診器を当て、幹の中を流れる水の音に感動したことなど、心に残る思い出は尽きない。山道に迷い日が暮れて雨が降り出し、不安な面持ちで沢を下っていたところ、土地の人に助けられたこともあった。「ドライブや散策の途中で、ガイドブックに載っていない光景に出会うのが旅の醍醐味」希少な高山植物を見つけたり、人の訪れない紅葉の絶景スポットを見つけたり、こうした発見がたまらない。近年はゴルフにも力を入れている。人間関係を作るうえでゴルフは欠かせない。今後も地域社会を見守りたい。地元警察の防犯活動、消防の防火防災活動、そして何よりも大学校友会の活動も盛り上げたい。

千代田から広がり続ける
早稲田の輪

副会長 渡邊 敦子(1987年法卒)

私が千代田稲門会に入会したのは、2011年です。2010年に一番町に法律事務所を開設し、台湾出身の林錦雀先輩

(1978年政経卒)に千代田稲門会を紹介されたのがきっかけです。現在は、法律事務所は有楽町、自宅が一番町の在勤・在住会員です。千代田稲門会デビューは千代田稲門会名物サロンです。少し緊張して参加しましたが、諸先輩方とお話するうちに、安心感のある居心地の良さを感じたことを覚えています。

2012年から6年間、青柳乾太郎会長、五島一雄会長のもとで幹事長を務めました。幹事会、総会、新年会、お花見会、グルメ会、台湾校友会総会参加、佐賀稲門会との姉妹提携等を通じて会員と交流を広げることができました。また、東京都23区支部幹事会に千代田稲門会幹事長として出席し、23区支部幹事の方々との交流もでき、さらに校友会組織委員会や総務委員会の委員も経験できました。

特に思い出深い活動は、東京都23区支部組織委員長を拝命した際に実現した東京都23区支部の組織変更です。支部長区単位輪番制が2017年で一巡することを踏まえた23年ぶりの新体制作りで、1区が1年間担ってきた支部長区の役割をブロック単位(1ブロック7区又は8区で構成)で4年間担っていくブロック輪番制への変更です。組織変更に向けて、23区支部幹事会での議論、各区幹事による所属稲門会への説明と意思決定、組織委員会メンバーによる会則変更案の作成等1つひとつ積み上げ、2016年4月開催の東京都23区支部総会(支部長区:品川稲門会)で満場一致で新体制移行が決定し、その後、校友会幹事代表者会に東京都23区支部の代表を推薦するルートも確保できました。

千代田稲門会入会をきっかけに、早稲田に関わる交流がどんどん広がりました。千代田稲門会は、生涯、早稲田の友人を増やしていける「心のふるさと」です。これからも、千代田稲門会の会員として、早稲田の交流を広げながら、母校への貢献を目指していきたいと思います。



会長ご挨拶

千代田稲門会会長 遊佐謙太郎

千代田稲門会は諸先輩方の多大なるご尽力により1997年に創立され、様々な活動を行ってきました。

2023年5月によやく新型コロナ感染症が5類に位置づけられ、かつてのようなリアルな場での活発な活動が可能となりました。これにともない多くのイベントの予定やその実施・記録の情報発信のため、千代田稲門会のホームページも活発に更新し千代田に住み・働く多くの若手会員をお迎えするようになりました。そのため皆様におかれましては、是非とも千代田稲門会のホームページを随時ご覧頂くようにお願いいたします。これからは会員同士の交流の中で新たな情報交換や新たな価値の発見が行われることを期待するとともに、皆様からの新たな活動へのご提案があれば積極的に対応していきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。千代田稲門会のモットーである「先輩は後輩を慈しみ、後輩は先輩を敬う」のもと、東京駅と皇居と大隈侯の旧居跡のある立地特性に鑑み、品格高く、活発で、楽しい千代田稲門会を目指していききたいと思います。

早慶レガッタ観戦応援

4月16日(日)

今年も隅田川にて早慶レガッタが開催され、千代田稲門会恒例の観戦応援が行われました。今年は応援部、応援指導部による応援も復活し、華やかな早慶レガッタが帰ってきました。メインの対抗イイトは早稲田ファンの勝利への願いを込め、予定より少し遅れてスタート。結果は残念ながら、慶応の勝利に。その前に行われた第二イイトも敗れて、がっくり肩を落とす結果となりました。観戦後は昨年に引き続き本所吾妻橋駅近くの「稲垣」へ。敗戦のショックも美味しいもつ焼きに癒され、参加者一同晴れやかな気持ちで帰路につきました。



懇親ゴルフ会

5月17日(水)

春の千代田稲門会懇親ゴルフ会が、恒例の茨城ゴルフ倶楽部東コースで開催されました。参加者は青柳さんご夫婦、小林さん、正岡さん、今村さん、原田さん、遊佐の7名、ゲストに梅澤さん、小竹さん、神山さん、青木さん、木下さんの計12名でした。当日はいきなり30度を超える今年初めての夏日となり、特に午後からは痛いほどの日差しがさす晴天に恵まれる中、松林が美しいコースを堪能致しました。優勝は梅澤さん、準優勝は小林さんでした。プレー後はコロナ明けということもあり



盃が進んで久しぶりに盛り上がった懇親会となりました。次回は同じく茨城ゴルフ倶楽部の西コースで10月に予定されています。ゴルフの腕前は問いませんので多数のご参加者を希望いたします。

2023年千代田稲門会

イベント盛りだくさんで一致団結!!

総会

6月9日(金)

有楽町の帝国ホテル「鶴の間」に於いて、令和5年千代田稲門会定時総会が開催されました。第一部の総会は、鈴木隆幸幹事長の司会進行で始まり、遊佐謙太郎会長が議長の下、令和4年度事業報告、同会計報告、同監査報告が審議され原案通り承認されました。その後、令和5年度活動計画案、会計予算案が審議され原案通り承認されました。

その後、第二部の講演会へ。今年は早稲田大学理工学術院の浜田道昭教授から「バイオインフォマティクス: 情報科学で生命・医学・薬学 研究にブレークスルーを」と題して御講演頂きました。浜田教授は早稲田大学の次世代を担う「次代の中核研究者」にも選ばれた将来を約束された早稲田の頭脳。これまでの生命科学、医学、薬学へのアプローチをガラッと変えるバイオインフォマティクスの可能性に出席者一同驚きと感動を戴きました。

記念撮影の後、南雲靖夫副会長の司会進行で第三部の懇親会が始まりました。遊佐会長からのご挨拶、早稲田大学地域担当課長の嘉指学様のご祝辞に続き、来賓の方々のご紹介が終わり、五島一雄相談役の発声による乾杯で会食・歓談に入りました。懇親会では、当日誕生日を迎えられた青柳乾太郎相談役へのサプライズのハッピーバースデー、早稲田祭運営スタッフによる早稲田祭の紹介、南雲副会長より新入会員紹介が行われ、素晴らしい御講演を頂いた浜田教授のところには人の輪が広がり懇親を深めました。宴もたけなわ。千代田OB・西脇さん作詞・作曲の「千代田稲門会のうた」、南雲副会長のリードで早稲田大学校歌を参加者全員で高らかに歌い上げました。名残惜しい会も、青柳相談役の閉会挨拶と関東一本締めで盛会のうちにお開き。千代田らしい総会が戻ってきました。



記念碑清掃

7月22日(土)

恒例の大隈侯雉子橋跡の記念碑清掃を千代田稲門会有志8名+1で行いました。コロナ禍のためここ数年間掃除できていませんでしたが、思いのほか汚れていませんでした。区役所の方が綺麗にして頂いていたのだと思います。感謝です。初参加の新入会員2名は、記念碑によじ登って拭きあげるなど、一番働いてくれました。30分ほどで記念碑はピカピカになり清掃終了。その後は南雲副会長が語り部ボランティアを務める昭和館の半藤一利展へ。

そしてお待ちかねの暑気払い打上げ。五島前会長も合流し、神保町の名店・クリムトで美味しい料理とセレクトワインを楽しみました。



サロン

8月7日(月)

千代田稲門会「サロン」が帝国ホテル本館4階の「松の間」で開催されました。総勢13名が参加され、2名の新入会員(新藤麻実さん、有吉秀樹さん)をお迎えいたしました。南雲副会長の司会で進行し、福島会員からは熱中症の予防策講義、今後の活動予定として次回サロン9/4帝国ホテル1階ラウンジ、10/18懇親ゴルフ会、11/23早慶ラグビー100周年記念大会などの予定が案内され、千代田らしい賑わいのある会となりました。



秋季早慶戦

10月29日(日)

まだまだ暑が残る中、伝統の早慶戦が神宮球場にて行われ、千代田稲門会および稲門医師会にて観戦を行いました。今回は優勝を賭けた早慶戦ということもあり、28,000人の大観衆が詰めかけた中、13:00にプレーボール。試合は早稲田先発伊藤樹投手(2年 仙台育英)が連投の疲れからかピリッとせず、初回に慶應栗林選手(4年 桐蔭学園)、宮崎選手(4年 国学院久我山)にタイムリーを打たれ2点を先制される厳しい展開に。それでも早稲田は何とか粘って追加点を許さずリーグ優勝に向けて粘りを見せますが、慶應先発竹内投手(1年 桐蔭学園)を攻略できず、得点を挙げることが出来ません。そして7回には慶應に追加点を奪われ、0-4で敗れました。

試合後は、千駄ヶ谷の「一堂」にて懇親会。美味しい料理とお酒に敗戦のショックを忘れて大いに楽しい時間を過ごしました。



ラグビー早慶戦

11月23日(木)

試合開始直後から3トライを重ねるなど終始慶応をリードする安定したゲームを進め歴史あるこの回を43-19で完勝。

試合後は信濃町駅に近い創作料理の「一堂」で懇親会。早慶戦の完勝をシェフのおいしい料理と美酒で祝った充実した一日となりました。



歌舞伎鑑賞 11月12日(日)

芸術の秋にちなんで、歌舞伎座で歌舞伎鑑賞会を開催しました。鑑賞した演目は「一、秀山十種の内松浦の太鼓」「二、鎌倉三代記」「三、顔見世季花姿繪」で、当会会員である中村東蔵様は「二、鎌倉三代記」に「母長門」の役でご出演されています。また同じ演目ではご子息である中村松江様も「富田六郎」の役でご出演されており、親子共演の演目を鑑賞できる贅沢な一幕でした。

今回、第一幕は忠臣蔵の討ち入りにまつわる話、中村様親子が共演された第二幕は、鎌倉時代の話と思いきや話のモデルは大坂夏の陣と、翌月に控えた赤穂浪士討ち入りの日や今年の大河にちなむ内容で構成されており、各物語の重厚さだけでなく、演目からは季節を味わう風情も感じさせます。

外は暦通りに冬の到来を告げる寒気が押し寄せましたが、自然と心が温まりました。



新年会 2024年2月17日(土)

永楽倶楽部にて千代田稲門会新年会を開催しました。今年は17名の会員が参加。さっそく早稲田大学OGの柳亭こみち様による落語「火焔太鼓」からスタートし、周囲は楽しい笑いで包まれます。

懇親会で終始和やかに食事や会話を楽しんだ後は恒例のお楽しみ抽選会。持ち寄った景品が誰の手に渡るのかで盛り上がりました。

最後は千代田稲門会のうた、早稲田大学校歌斉唱と続き、五島相談役の閉会の挨拶と遊佐会長による三本締めで盛会の中お開きとなりました。



新人会員



有吉 秀樹 (1997年法卒)

大学を卒業し、銀行勤務の後、社会人大学院を経て、獨協大学でマーケティングを教えています。研究の素材はキャンパスの外にあるもの。アカデミックとビジネスの両方に足をかけ研究・教育を進めてきました。



音喜多 駿 (2006年政治経済学部卒)

事務所が永田町にあるご縁で昨年より入会させていただきました。参議院議員の音喜多駿と申します。在学中は早稲田祭運営スタッフとして早稲田祭の運営に携わり、今でも毎年キャンパスを訪れています。



紀平 浩幸 (1997年教育卒)

本籍が麹町で千代田区とは縁が深いため、2023年9月より入会させて頂きました。中央区日本橋で医療経営コンサルティング会社を運営しております。早稲田実業高校出身です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



古野 里奈 (2021年国際教養卒)

千代田稲門会の会計担当をしています。普段は大手町の会社員です。若者が少ないですが、優しく優秀な先輩方から貴重な話が聞け、世界が広がる感覚です。気楽に参加できますよ、お待ちしております！



高井 貴雄 (1998年第一文学卒)

1998年第一文学部卒の高井と申します。昨年7月より、千代田区平河町にある姫路市役所の東京事務所勤務となり、2025年3月末まで赴任予定です。「集まり散じて」、皆様とのご縁を大切にしたいと思います。



田村 拓靖 (2019年国際教養卒)

早稲田高校出身、田村拓靖(たむらひろやす)と申します。九段町会や神田祭への参加機会があり千代田区との様々な縁を感じています。昨年より平河町に移住しました。神輿を担ぎます。よろしくお願いいたします。



千葉 大輔 (2020年社会科学卒)

北海道出身で大学から東京に来ました。大学時代は早稲田に、現在は千代田区に住んでおり縁あって入会させていただきました。何卒よろしくお願いいたします。



得重 貴史 (2008年法卒)

弁護士の得重貴史と申します。お世話になります。学生時代、4年間、早稲田駅前のマクドナルドでバイトをし、社員になりかけました。そこで培ったスマイルで、皆様と穏やかに過ごせれば幸いです。日本酒と登山好き。



舟山 洋央 (2000年理工卒)

理工学部卒業後は野村総研にお世話になり、その後2004年起業しまして、今年で早いもので20年目です。長らく技術畑で生きて来ましたが、30代でゴルフと出会ってしまい、熱中。そこから人生が変わってしまいました笑



丸崎 健仁 (2010年社会科学卒)

初めまして。丸崎と申します。愛知稲門会会長をしていたご縁で、当時手塚善雄会長とも交流がありました。新卒で10年間JETRO、その後ITベンチャー、教育業界を経て、現在は三菱UFJ銀行にいます。何卒よろしくお願いいたします。



山本 裕人 (2010年法卒)

平成22年法学部、平成24年法務研究科卒の山本です。検察官を務めた後、現在は弁護士をしています。趣味はプロレス29年、歌舞伎16年、遠州流茶道半年です。毎回とても楽しいので、今後ともよろしくお願いいたします。

氏名	卒年	学部
小池 和正	1993年	法
馬庭 叶子	2021年	人間科学
廣部 仁	2020年	政経
田代 理沙	2018年	教育

告知板

■ 総会のお知らせ

* 2024年6月14日(金)

* 会場検討中

詳しくは、あらためて連絡いたします。

■ サロン会 新会場のご案内

ビアダイニング ヒナタ ガーデン

(千代田区神田駿河台3-11-1)

編集後記

今年新たに入会するとともに、前号まで担当していた父の志を受け継ぎ、当会報誌の編集とデザインをいたしました新藤です。第一文学部卒、千代田区麹町にてデザイン制作会社を営んでおります。新入会員さんの顔ぶれを見ておりますと、同じ大学卒ながら、こんなに多様な道があるのかと驚いています。

千代田稲門会の精神

先輩は後輩を
慈しみ
後輩は先輩を
敬う